

議事概要	
会議の名称	令和4年度第2回長久手市文化の家運営委員会
開催日時	令和5年3月17日（金）午後6時30分から午後8時まで
開催場所	長久手市文化の家 企画室A・B
出席者氏名 （委員50音順、敬称略）	<b>【委員】</b> 浅野芳夫 安藤隆之 大村真也 梶田美香 片野直美 川北真紀子 田中美貴 安原雅之 <b>【事務局】</b> くらし文化部長            門前健 くらし文化部次長        磯村和慶 生涯学習課長            粕谷庸介 文化の家館長            粂山勝人 課長補佐兼事業係長    生田創 施設係長                山田伸恵 施設係専門員            水谷一義 事業係主任               黒野雅直
欠席者	安達彩委員、川本達志委員、鈴木香代子委員、山口節子委員
傍聴者人数	0人
会議公開・非公開	公開
概要	1 報告事項 (1) 令和4年度（令和5年1月分まで）施設管理運営報告 (2) 令和4年度（6月分から令和5年1月分まで）自主事業報告 2 議題 (1) 令和5年度自主事業計画について (2) 大規模改修について 3 その他

議事録	
事務局	本会議は、過半数の委員が出席しているため、成立していることを報告。ここから議事進行を委員長に願います。

	<p><b>1 報告事項</b></p> <p><b>(1) 令和4年度（令和5年1月分まで）施設管理運営報告</b></p>
事務局	（【資料1】に基づき、説明）
委員長	報告に関して、意見・質問等あるか。
委員	電気・ガスの料金の予算が足りなくなり、補正予算で埋められたのか。指定管理事業者であると、指定管理料は上限が決められている。補填が苦しい会館が多い中で、直営のメリットが発揮されたのではないかと思う。
事務局	2回に分けての補正になったが、光熱水費を予測した資料を提出して、原案のとおり議会で可決された。文化の家がクールスポットとしての役割を果たす中で、空調設備の使い方を工夫して燃料使用量を節約した。
	<p><b>(2) 令和4年度（6月分から令和5年1月分まで）自主事業報告</b></p>
事務局	（【資料2】に基づき、説明）
委員長	報告に関して、意見・質問等あるか。
委員	10月30日に実施したハイキングコンサートについて、もし、悪天候や強風だったら、どのような予定であったか。
事務局	もし、悪天候等の場合は、文化の家の森のホールで行う予定であった。天候以外にも猪に襲われたらどうするかなど、心配事が尽きず、非常にリスクのある企画であった。
委員	このような企画をしたいが、これをやる勇気と、実現したということは、すごいなと思った。
委員	配信するかしないかの基準はあるか。配信したものに対して、どのような効果があったか。また、どのように数えるか。
事務局	例えば、7月24日に実施した「文化と地域デザイン講座」などの無料の講演会はなるべく配信する。YouTubeの視聴数で何人視聴

委員	<p>したか数える。</p> <p>この事業は、後日にも配信したが、リアルタイムの視聴数を入場者数に含めている。</p> <p>また、音楽事業では、演奏者のご意見を伺う。中には、記録が残ることを懸念する方もいる。その場で生ライブ配信だけやって終わりという方がいれば、1回撮って様子を見て後日配信という方もいて、バラつきがあるので、出演者と相談して決めている。</p> <p>来館してもらうためには、いろいろ障害があるが、配信だと誰でも聴くことができる。今後は視聴数も分かるように報告書に入れてほしい。</p>
委員	<p>今後の文化の家の配信事業はどのような計画があるか。</p>
事務局	<p>映像として残すことは必ずやっていきたい。会館側の人員体制が整えば、配信をやっていきたい。また、後日、配信が許されるのであれば、事後配信もやっていきたい。ライブ配信は人員体制の大変さと、精神的に最後まで音が途切れないかどうかの心配がある。</p>
事務局	<p>音楽の著作権には気を遣いながら行っている。著作権の制限がかかるところはなるべく配信しない。</p>
委員	<p>そのような意味では、創造スタッフは自分で作曲して配信することは構わないので、そこは手がけていきたい。</p>
委員	<p>ハイキングコンサートに参加した。よいイベントだったと思う。聴く場所の自然の風景と楽器の構成がすごくよく合っていて、よく考えられた構成であると思った。</p> <p>こういうイベントに参加できる環境である市ということで、市民としてありがたい。</p> <p>その前準備で、小学生に演奏したり、てつがくカフェもあったりして、ハイキングコンサートの前準備としてよく考えられた企画であった。今後も地域の文化を育むところにつながってけるとよい。</p> <p>あと、12月7日のフレンズ企画は、長久手在住の方が演奏するというので、市の特長を生かした催しであった。今後も市民の演奏を市民が聴くという良い循環が続くと良いと一市民として感じる。</p>

委員	<p>今回の報告で一番感動したのは、「ハイキングコンサート」。あれは本当に贅沢な企画で、今後、より普及させる形にどうやっていくかに注目する。</p>
事務局	<p>最後に、竹林の前で演奏したが、車を停めることができる場所から演奏場所まで800メートルくらいあった。歩いて行くことしかできず、炎天下の中、何時間もかけて平台を運んで演奏の準備をしたので、途中で本当に倒れそうになったり、沼にはまったり大変であったが、本当に自然と向き合うということはこういうことだなと感じた。</p>
委員	<p>市民が普通に参加できる、もうちょっと気楽に来てもらえる取組にできるといいなと思う。内容の質を下げることではなく、フレンジミみたいな人たちを巻き込んで一緒に作ると思った。</p>
事務局	<p>文化の家のスタッフは、自分たちで事業を作ることで精一杯になり、結局、いろんな人を巻き込めないことが課題だと思う。他ではやっていないことをやることは、知られていないものを知ってもらう作業が必要で、ひとつの価値を新たに知ってもらうという作業である。つまり、委員の発言の市民を巻き込む何らかの取組がもっと必要というように常に思っていて、そのためにどう優先順位をつけていくのが今後課題である。市民と一緒に作ったほうが絶対楽しいし、いいものになる。それには時間とエネルギーが必要なので、そういったことも含めて今後検討していきたいと思う。</p>
委員長	<p>作る楽しさというのも受容する楽しさ、いろんな楽しみ方があり、人を巻き込むというのは良いと思う。</p>
	<p><b>2 議題事項</b>  <b>(1) 令和5年度自主事業計画について</b></p>
事務局	<p>【資料3】に基づき、説明)</p>
委員長	<p>報告に関して、意見・質問等あるか。</p>
委員	<p>25th 記念歴史劇は学芸員と一緒に作るのか。</p>
事務局	<p>学芸員と一緒に作るというより、長久手は「小牧・長久手の戦い」</p>

委員	<p>で知られているが、今回は、まったく史実に基づかない創作劇にしようと思っている。ただ、史実として、学芸員から武将の背景などの情報を聞きつつ、それを配役としてあてがって一つの作品にしていきたいと思う。</p> <p>学芸員を活用するというお話はとてもいいと思う。例えば、地域ブランドを考えるにあたって、学芸員の専門性と、この地域ならではの価値を掛け合わせるのではなく、それが今度はフィクションにするんだ、ということは文化の家っぽいなど、非常に良い連携だと思う。</p>
事務局	<p><b>(2) 大規模改修計画について</b></p> <p>【資料4】に基づき、説明)</p>
委員長	<p>説明に関して、意見・質問等あるか。</p>
委員	<p>予算的にどの位の規模になるか。</p>
事務局	<p>相当な規模になる。</p>
委員	<p>愛知県芸術文化センターは、もう天井改修が終わっているが、天井と建物が一緒に揺れるというものが多い。お客様の安心度からすると準構造は安心だと思うが、それなりに重量が増すのと、工事費用がかかる。</p> <p>舞台の監視カメラについて、もし暗視カメラをつけるのであれば、暗視カメラと通常カメラ両方つけた方が、明転したときにモニターが白黒のままということがない。あと、LEDにすると遠目はいいが、球が切れると器具ごと取り替えになり、十年後にはほぼLEDにしない場合と同じくらいのお金が必要になる。それがあまり考慮されていないホールが多い。</p>
委員	<p>信号機と同じで器具ごと変えられるようになり、たぶんLEDが今後安くなるだろう。</p>
委員	<p>今後の計画で6年度から7年度にかけて工事が始まると、どの程度施設が使えなくなるか。</p>

事務局	今回の基本設計でいうと13か月間かかる。
委員	施設がまったく使えないということか。
委員	二つのホールがあれば、時期をずらすこともできるのか。
委員	今回は、ギャラリーも工事を行う。ホール内だけなら工事の音はそんなに出不いが、ギャラリーも対象となると、工事の音の問題もあり、全館休館しないといけない。ギャラリー部分の工程は早めに調整して、後半はホールだけというように分離すれば、アトリビング側は早めに開放できるかもしれない。
委員長	以上で本日の議事を終了とする。会議の進行を事務局にお返しする。
事務局	本日の会議は、以上で終了する。